

【調査票】 エスカレーターについて

項目
1 稼働台数
2 主な仕様（踏段の幅、勾配、定格速度等）
3 法規制、安全基準
4 事故情報（件数、事例等）
5 現地調査（実地でのカウント）
6 意識調査（アンケート）
7 安全対策
8 安全に関する実証実験、研究など
9 エスカレーターの歩行利用に関しての案内、取組、啓発活動など
10 エスカレーターの歩行利用の実態など

1 稼働台数（≒保守台数）

シンガポール建築建設省（Building and Construction Authority (BCA)）は国内のエスカレーターの総数は 7,000 台以上と公表している。

（参考：建築建設庁 HP「Lift and Escalator Safety」

<https://www1.bca.gov.sg/public/safety-resources/lift-and-escalator-safety#:~:text=Did%20you%20know%20that%20there,and%207%2C000%20escalators%20in%20Singapore%3F>）

2 主な仕様（踏段の幅、勾配、定格速度等）

建物維持管理及び階層管理法（Building Maintenance and Strata Management (Lift, Escalator and Building Maintenance) Regulations 2016）では、エスカレーターの設計上の仕様（踏み段の幅、勾配、定格速度、乗降口における水平踏段の枚数、積載荷重、制動装置による停止距離、すき間）についての記載はなく、これらについて法律上の基準は確認できなかった。

シンガポールで実際に使用されているエスカレーターの主な仕様については、以下の通りである。

踏段の幅：

600mm、800mm、1000mm

（参考：KONE(<https://www.kone.sg/new-buildings/escalators-and-moving-walkways/travelmaster-110.aspx>)、Schindler(<https://www.schindler.sg/en/escalators-moving-walks/escalator/schindler-9300.html>)、XJ Elevator(https://xjelevator.com.sg/product/ezstep-escalator-and-travellator/?utm_source=chatgpt.com))

勾配：

27.3 度、30 度、35 度

（参考：KONE(<https://www.kone.sg/new-buildings/escalators-and-moving-walkways/travelmaster-110.aspx>)、Schindler(<https://www.schindler.sg/en/escalators-moving-walks/escalator/schindler-9300.html>)、XJ Elevator(https://xjelevator.com.sg/product/ezstep-escalator-and-travellator/?utm_source=chatgpt.com))

踏段の定格速度：

MRT（都市高速鉄道システム）では、ピーク時に 0.75m/s、オフピーク時に 0.5m/s の低速で運用されている。

（参考：Straits Times 2016 年 8 月 7 日公開記事

https://www.straitstimes.com/singapore/dual-speeds-planned-for-escalators-at-mrt-stations?utm_source=chatgpt.com、

Straits Times 2024 年 3 月 8 日公開記事

<https://www.straitstimes.com/singapore/transport/290-escalators-at-mrt-stations-on-north-south-east-west-north-east-lines-to-be-upgraded>）

（参考：建物維持管理及び階層管理法（Building Maintenance and Strata Management (Lift, Escalator and Building Maintenance) Regulations 2016）

<https://sso.agc.gov.sg/SL/BMSMA2004-S348-2016?DocDate=20181227&ProvIds=Sc2->

3 法規制、安全基準

建物維持管理及び階層管理法（Building Maintenance and Strata Management (Lift, Escalator and Building Maintenance) Regulations 2016）により、エレベーターやエスカレーターの定期的かつ適切なメンテナンスについて規定し、安全に使用できるようにするための規制を定めている。エスカレーターに関する記載の概要は以下のとおり。

①エスカレーターの検査、点検及び試験

エスカレーターの運転許可を申請する際は、専門の技術者の立会いの下で、エスカレーターが設計された規格の要件に沿って点検、検査、試験を行う必要がある。

②エスカレーターの定期メンテナンス

エスカレーター所有者は、エスカレーターサービス業者に委託し、エスカレーター保守作業を実施しなければならない。定期メンテナンスは、エスカレーターが設計された基準、要件に沿って、毎月1回実施しなければならない。定期メンテナンスにおいて、特に確認・整備すべき主要な項目は以下の表のとおり。

【表：定期メンテナンスの主要項目】

1. 標識と指示板	(a) 安全標識と方向指示板は、明確かつ目立つように表示されなければならない。 (b) エスカレーターのステップの端は、黄色の線により明確に区画されなければならない。 (c) エスカレーターの歯車付近には十分な照明が確保されなければならない。
2. 登攀防止、滑り防止、アクセス制限、および逸脱防止装置	登攀防止、滑り防止、アクセス制限、および逸脱防止装置は適切に設置され、その目的を効果的に果たさなければならない。
3. 緊急停止スイッチ	緊急停止スイッチの作動は、エスカレーターの緊急停止を起動しなければならない。
4. 手すりシステム	(a) 手すりは、エスカレーターステップと同じ方向と速度（速度許容差 $\pm 2\%$ 以内）で移動しなければならない。 (b) 手すり入口安全スイッチは、異物が入口に入ると作動し、エスカレーターを緊急停止させなければならない。
5. 清掃	運転室、返却室、トラス区域内のすべての機械および機械室は、清潔で整頓され、廃棄物やごみがない状態に保たなければならない。
6. 駆動機械、ブレーキ、スプロケットおよび補助ブレ	(a) 機械に油漏れがないこと。 (b) 可動部、接合部およびギアボックスは十分に潤滑され

ーキ	<p>ていること。</p> <p>(c) ブレーキが作動した場合、エスカレーターは設計基準で定められた距離内で停止すること。</p> <p>(d) すべての機械は確実に固定されていること。</p>
7. 安全スイッチおよびセンサー	<p>安全スイッチ（※）の作動は、エスカレーターを緊急停止させる必要がある。</p> <p>（※：スカートパネルスイッチ、エスカレーターコームスイッチ、ステップサグスイッチ、ステップアップスラストスイッチ、ステップ欠落検出装置、床板またはアクセスカバー検出スイッチ、ドライブチェーン張力およびステップチェーン張力監視スイッチ）</p>
8. 過速度および意図しない逆転防止装置	エスカレーターステップの速度が定格速度の 20%を超える場合、緊急停止が作動しなければならない。
9. 操作クリアランス	エスカレーターステップとエスカレータースカートパネル間のクリアランス、エスカレーターステップとエスカレーターコーム間のクリアランス、およびその他のすべてのクリアランスは、エスカレーターが設計された基準の要件に準拠しなければならない。
10. エスカレーターすべての部品	エスカレーターすべての部品の腐食、摩耗、損傷は、エスカレーターの安全な運転に影響を与えてはならない。
11. コントローラーおよび電気システム	<p>(a) コントローラー、電子および電気システム、回路基板（接触部品または電子部品を含むプリント基板を含む）の接地およびアースは、確実に固定されなければならない。</p> <p>(b) コントローラーは、乗客およびメンテナンス作業員にとって安全でない状況下で、エスカレーターを即座に停止させ、エスカレーターの動きを防止しなければならない。</p> <p>(c) コントローラー、電子および電気システム、配線、回路基板（接触部品または電子部品を含むプリント基板を含む）は、欠陥（過熱の兆候、剥離、焼損、変形、腐食など）がないこと。</p> <p>(d) コントローラー、電子および電気システム内の配線は、欠陥（接続の不適切または不完全、絶縁の破損、導体部分の露出など）がないこと。</p> <p>(e) コントローラー、電子および電気システム、配線および回路基板（接触部品または電子部品を含むプリント基板を含む）は、エスカレーターが動作中である場合、常</p>

に正常に機能すること。

③エスカレーターの所有者の義務

エスカレーター所有者は、エスカレーターに関連するすべての保守記録（専門の技術者又は公認検査官が署名した証明書及びその他の文書を含む。）を、記録の発行又は作成後、最低5年保管しなければならない。当該5年の期間内に要求された際は、建築建設省又は建築建設省によって許可された人物に、保守記録を提出しなければならない。

④エスカレーターの事故の調査

エスカレーターの所有者及びエスカレーターサービス請負業者は、重大事故（死傷や安全部品等の故障）があった場合は、早急に建築建設省に事故発生を報告する必要がある。

（参考：建物維持管理及び階層管理法（Building Maintenance and Strata Management (Lift, Escalator and Building Maintenance) Regulations 2016）

<https://sso.agc.gov.sg/SL/BMSMA2004-S348-2016?DocDate=20220729&WholeDoc=1#P14>）

4 事故情報（件数、事例等）

建築建設省の2023年11月27日の報告によると、2023年1月～10月にかけてエスカレーターで発生した事故が632件であり、そのうち97%（616件）は利用者の行動に起因する事故であり、機械的な故障による事故は3%未満（16件）であった。

利用者の行動に起因する事故の原因のうち、65%を占めた上位5つは次の通り。

①大きな荷物を運ぶ

事故のうち17%は、ベビーカーやスーツケース、ショッピングカート等、大型で重い荷物を持ってエスカレーターを利用してバランスを崩したことが原因だった。

②歩行利用、手すりを持たない

事故の16%は、利用者がエスカレーター内で移動しているか、手すりを持たなかったことが原因だった。

③利用者の身体的状態

事故のうち12%は、気分が悪くなったりめまいを感じながらエスカレーターを利用する等、利用者の身体的健康状態に起因するものだった。

④注意散漫

事故のうち11%は、携帯電話の使用等により、エスカレーター利用中の注意不足が原因だった。

⑤靴や身体の一部が挟まる

事故の9%は、特に幼児の間で、エスカレーターの階段に靴や身体の一部が挟まったことが原因だった。

（参考：建築建設省プレスリリース（2023年11月27日公開）

https://www1.bca.gov.sg/about-us/news-and-publications/media-releases/2023/11/27/97-of-escalator-incidents-reported-to-bca-linked-to-improper-use-of-escalator?utm_source=chatgpt.com）

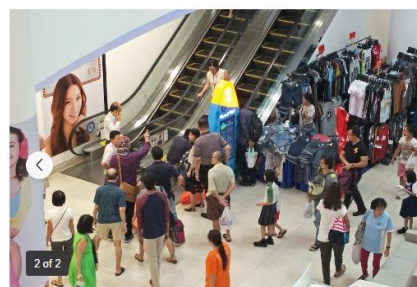
【事故事例】

・2017年8月、商業施設のエスカレーターが突然停止し、女性が約10段滑り落ちて負傷した。

(参考及び画像引用元：

Straits Times 2017年8月4日公開記事

https://www.straitstimes.com/singapore/transport/woman-injured-after-falling-down-escalator-in-rivervale-mall-which-suddenly?utm_source=chatgpt.com)

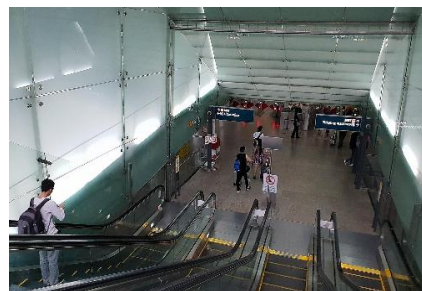


・2019年1月、エスカレーターと、閉まったままの駅のシャッタードアの間に挟まれ、女性と子供2名が負傷した。

(参考及び画像引用元：

Straits Times 2019年2月5日公開記事

https://www.straitstimes.com/singapore/woman-hurt-in-mrt-escalator-accident?utm_source=chatgpt.com)

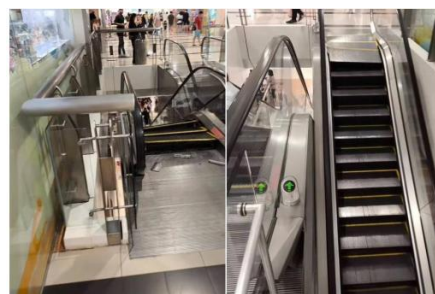


・2025年5月、商業施設のエスカレーターでベビーカーの車輪がステップの隙間に挟まり、ステップがずれて停止した。負傷者はいなかった。

(参考及び画像引用元：

Straits Times 2025年5月6日公開記事

https://www.straitstimes.com/singapore/harbourfront-centre-escalator-steps-dislodge-after-stroller-wheels-get-caught-between-steps?utm_source=chatgpt.com)



5 現地調査（実地でのカウント）

政府関係機関の公式HPや報道機関のウェブサイトでは、エスカレーターに関する現地調査の結果を報告する資料は確認できなかった。

6 意識調査（アンケート）

政府関係機関の公式HPや報道機関のウェブサイトでは、エスカレーターに関する意識調査の結果を報告する資料は確認できなかった。

7-1 安全対策

地下鉄運営会社 SMRT の取組

地下鉄運営会社の一つである SMRT は 2022 年に、南北線（赤線）と東西線（緑線）の駅にあるすべてのエスカレーターの改修工事を終え、改修されたエスカレーターには下記のような安全装置が設置または強化されている。（※詳細な説明や写真は、参考②の安全装置一覧をご参照ください。）

1. 逆止装置：上り方向のエスカレーターが誤って逆方向に動くことを防止。
2. LED 標識：進行方向を明示する標識を乗降口に設置。



(左：赤と緑の信号方式の LED 標識。実際に標識は点滅している。)

3. 警告ステッカー：手すり、ランディングプレート、その他駅構内で警告サインを掲示。



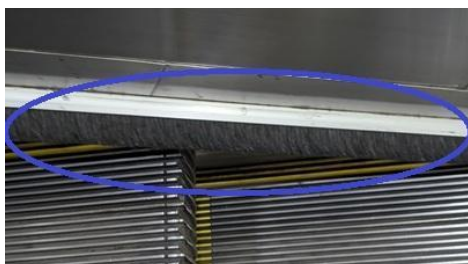
(上：エスカレーター乗降口の足元及び手すり直下に貼ってある警告サイン)



(左：ビシヤン駅構内に貼ってある巨大な注意喚起ポスター)

(上：手すり直下の警告ステッカー)

4. スカートブラシ ディフレクター：利用者の足がステップとエスカレーター側面の間に挟まれるリスクを最小限に抑えるために設置する。



左：スカートブラシ ディフレクター)

5. 音声案内：駅構内で安全の注意喚起が英語、中国語、マレー語、タミル語の主要 4 言語で随時放送されている。また、高齢者の多い地区のエスカレーターで、主要の 4 言語に加え、広東語と福建語のアナウンスも放送されている。

(※広東語及び福建語の音声内容については参考③の YouTube 動画を御覧ください。)



(左：クレメンティ駅のエスカレーター乗降口で設置された小型スピーカー。安全の注意喚起を広東語と福建語で放送されている。)

6. 2段階速度運転の起用：混雑していない時間帯に、高齢者と子どもの安全のため、低速運転に切り替えることになっている。
7. 踏板四隅に危険位置を区画する黄色の境界線を設けること。
8. バリアの設置：ベビーカー、カート、車いす、台車などを阻むために、乗降口の前に障害物を設置するとともに、エレベーター利用の案内をする。



(上) チャンギー空港のエスカレーターの乗降口（下り）の前に設置されている障害物

(左) チャンギー空港のエスカレーターの乗降口（下り）の前に設置されているバリアとエレベーター利用の看板

参考及び画像引用元：

- 1 SMRT エスカレーター改修工事完了のプレリリース (2022年7月13日)
<https://www.smrt.com.sg/news-publications/newsroom/media-releases/media-release-escalator-refurbishment-project-on-north-south-and-east-west-lines-is-completed/>
- 2 SMRT 改修されたエスカレーターに設置した安全装置一覧
<https://www.smrt.com.sg/getmedia/85a6188e-8f5f-4414-bbef-0bae4b622b5c/smrt-factsheet-completion-of-nsewl-escalator-refurbishment-project.pdf>
- 3 高齢者向けエスカレーター安全アナウンスの放送例（広東語及び福建語 YouTube 動画）
<https://www.youtube.com/watch?v=ey64OG5a6FQ>
- 4 SMRT のエスカレーターでインストールされた安全装置（インスタグラム動画）
<https://www.instagram.com/reel/CydNfOFKnZ6/>

7-2 安全対策

地下鉄及びバス運営会社 SBS Transit の取組
 駅にあるエスカレーターの安全対策

1. 音声案内：駅構内で安全の注意喚起が英語、中国語、マレー語、タミル語の主要 4 言語に加え、高齢者のための広東語、福建語、潮州語の注意喚起も随時放送されている。
2. 2 段階速度運転の起用：混雑していない時間帯に、高齢者と子どもの安全のため、秒速 0.5 メートルの低速運転に切り替えることになっている。
3. 非常停止ボタン：非常停止ボタンの認知を向上させるために、目立つように設置する。
(※参考⑤の 55 ページの写真を参照。)
4. 案内係員の配置：混み合う時間帯にエスカレーター付近には係員を配置。高齢者や大型荷物を持っている人にエスカレーターの安全性を説明し、エレベーターの利用を勧める。

バス・ターミナル周辺にあるエスカレーターの安全対策



(左：バス・ターミナル周辺のエスカレーター付近で、安全利用の看板が目立った位置に設置されている。)

参考及び画像引用元：

- 5 SBS Transit Sustainability Report 2023、55 ページ
<https://www.sbstransit.com.sg/Uploads/Sustainability/Sustainability%20Report%202023/SBST%20SR%202023.pdf>
- 6 SBS Transit Sustainability Report 2024、49 ページ
https://www.sbstransit.com.sg/Uploads/Sustainability/Sustainability%20Report%202024/BS%20Transit%20Sustainability%20Report%202024_v18_14MB.pdf

8-1 安全に関する実証実験、研究など

Fraser's Property Singapore が開発、運営している商業施設

実施場所：タンピネス 1 モール

実験期間：2022 年 4 月～7 月

問題意識：ベビーカーや台車をエスカレーターに乗せることが事故の多発につながっているため、バリアを設置することにより、事故の減少に導くことが可能である。

デザイン：

モール内のエスカレーターの前に磁気式ポールを設けることにより、ベビーカーや大型荷物が載っている台車を押した人のエスカレーターの利用を阻む。同時に、最寄りのエレベーターの位置を案内するための記号や看板をエスカレーターの付近に分かりやすく設置する。

磁気式ポールは、脱落防止のために頑丈に設計されており、緊急時にも簡単に撤去できるため、使いやすいたことが利点である。



写真：Frasers Property Singapore ウェブサイト

実験結果：

磁気式ポールを備えたエスカレーターでは、ベビーカーや台車を持った乗客の数が 50%減少した。この結果により、本取組はデベロッパーが運営している他の 3 つのモールにも導入された。その他の具体的なデータや分析結果は公表されていない。

参考及び画像引用元：

- ・ Frasers Property Singapore 2023 年 11 月 23 日プレスリリース

<https://www.frasersproperty.com/sg/press-releases/2023/november/frasers-property-singapore-pilots-magnetic-bollards-for-safe-use>

- ・ シンガポール建築・建設庁による本実験の紹介

<https://www1.bca.gov.sg/public/safety-resources/lift-and-escalator-safety/magnetic-bollards>

8 安全に関する実証実験、研究など

シンガポールの主要ニュース・チャンネル CNA が 2019 年 6 月 21 日に放送したドキュメンタリーにおいて、記者はベビーカーをエスカレーターに乗せる行為を防ぐために、ショッピングモールで 1 日（終日）の実験を行った。

実施場所：ショッピングモール

実施時期：不明

問題意識：エスカレーターの乗降口の足元に、目立ったフロア・サインを設置することにより、ベビーカーによる利用を防ぐことができる。

デザイン：

ショッピングモール内の、上りエスカレーターの乗降口手前の床面に、目立ったサイン（「ベビーカーを乗せないでください」）を貼ることで、人々に注意を促し、ベビーカーでの利用を抑制するよう試みた。対象のエスカレーターに対して記録用のカメラを設置し、当該エスカレーターの映像を一日中撮影した。

実験結果：

具体的なベビーカー数や人数は公表されていないが、床面のサインに気づいた人がいたにも関わら

ず、ベビーカーや大型スーツケースを持った人の利用を防ぐことはできなかった。

参考：

CNA ドキュメンタリー「Are we using escalators wrongly?」

https://www.youtube.com/watch?v=RkNt_B5mHhE

9 エスカレーターの歩行利用に関しての案内、取組、啓発活動など

【製造事業者、業界団体】

9-1-1 製造事業者（主要なエスカレーターのメーカー）

1 取扱説明書

メーカー作成のユーザーマニュアルとして公開されている資料は、確認できなかった。

2 製造事業者HP（KONE）

大手エスカレーターメーカーである KONE の HP では、エスカレーターの歩行利用の禁止や注意を促す記載は確認できない。同様に、片側を空けるよう推奨する記載も確認できない。

安全な利用に関する啓発活動としては、子供向けに安全教室を開催したり、子供達がエスカレーターの安全について学べるゲームアプリの制作といった取組を行っている。



（安全利用に関するワークショップの様子）



（ゲームアプリのイメージ画像）

（参考及び画像引用元：KONE HP

https://www.kone.sg/stories-and-references/stories/safety-first.aspx?utm_source=chatgpt.com

https://www.kone.sg/stories-and-references/stories/be-safe-with-bob-and-max.aspx?utm_source=chatgpt.com）

3 製造事業者HP（Schindler）

大手エスカレーターメーカーである Schindler の HP では、エスカレーターの歩行利用の禁止や注意を促す記載は確認できない。同様に、片側を空けるよう推奨する記載も確認できない。

製品のアップグレードに関するページでは、スカートブラシ ディフレクター（スカートの巻き込みを防ぐ）、ステップの黄色の境界線、緑色の「足置き位置マーク」等を導入することによって、エスカレーターの安全性を向上させることが推奨されている。

(参考：Schindler HP
https://www.schindler.sg/en/escalators-moving-walks/modernization.html?utm_source=chatgpt.com)

【製造事業者、業界団体】

9-1-2 業界団体 (Singapore Lift & Escalator Contractors & Manufacturers Association (SLECMA))

1 業界団体HP

シンガポールのエレベーター及びエスカレーターの製造事業者の業界団体である Singapore Lift & Escalator Contractors & Manufacturers Association (SLECMA)の HP では、エスカレーターの歩行利用の禁止や注意を促す記載は確認できない。同様に、片側を空けるよう推奨する記載も確認できない。

HP には、団体の目的として、エスカレーターの安全性向上や一般利用者への安全に関するアドバイスの提供等が掲げられている。団体の活動としては、制度整備に向けた提案や協議等を通して、安全性向上に貢献している。

(参考：SLECMA HP <https://www.slecma.org.sg/index.htm>)

【設置者、管理者】

9-2-1 鉄道事業者

1 鉄道事業者HP

シンガポールの鉄道事業者である SMRT の HP では、エスカレーターの歩行利用の禁止や注意を促す記載は確認できない。同様に、片側を空けるよう推奨する記載も確認できない。

HP では、エスカレーターの安全な利用のための注意事項が記載されており、内容は以下の通り。

- ・手すりを使用すること。手すりの上に乗らないこと。
- ・エスカレーターのステップの黄色の境界線（端の部分）に寄らない。（足や衣服が巻き込まれるため。）
- ・足を上げて慎重に乗り降りすること。足を引きずったり滑らせたりしない。
- ・エスカレーターの乗降口をふさがない。
- ・子供から目を離さず、手をつないで乗ること。ベビーカーがある場合は利用しない。

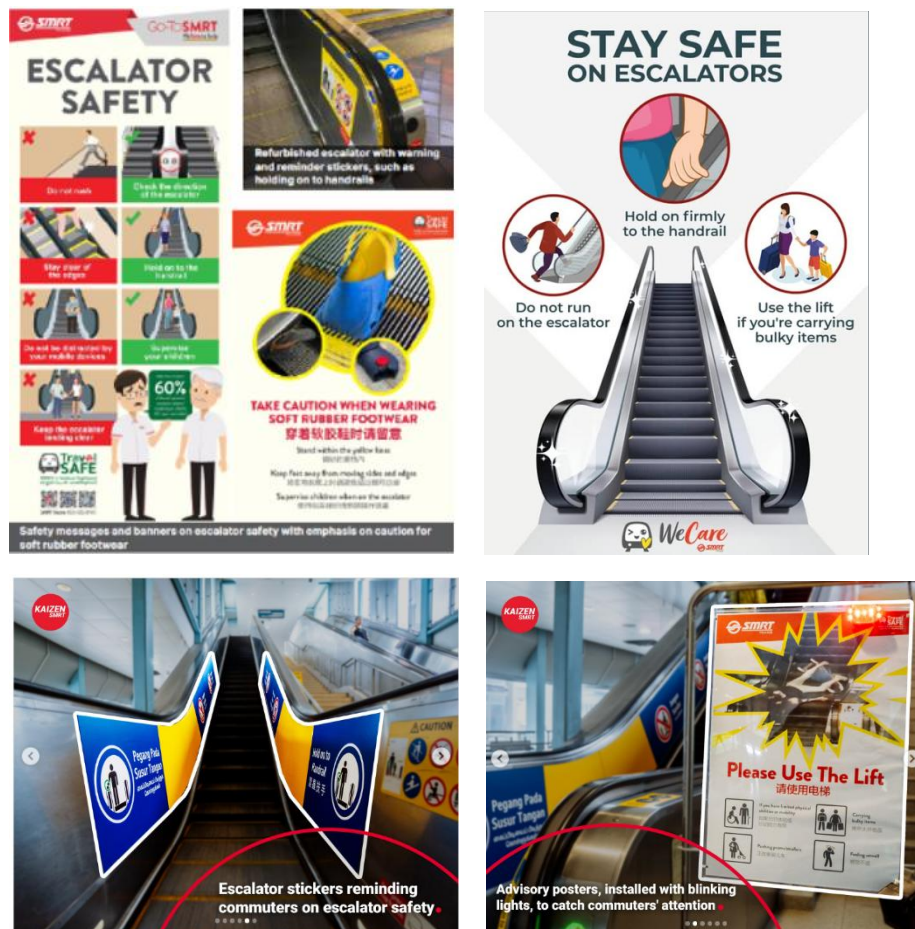
(参考：SMRT HP

https://www.smrt.com.sg/public-transport/getting-around/?utm_source=chatgpt.com)

2 サイン等の掲示

エスカレーターの歩行利用の禁止や注意を促したり、片側に寄ることを推奨する内容の掲示はないが、以下のような注意喚起のステッカー（走りながら利用しない、手すりを握

る、キャリーケースを持っている場合は利用しない等）を掲示したり、様々な言語による安全アナウンスを行っている。



（参考及び画像引用元：SMRT HP

https://www.smrt.com.sg/sustainability/social/encouraging-public-safety/?utm_source=chatgpt.com

SMRT Instagram

https://www.instagram.com/p/C574Ga0NMd-/?img_index=4

SMRT Facebook

<https://www.facebook.com/SMRTCorpSG/posts/as-you-are-out-and-about-for-your-cny-visitations-do-stay-safe-when-riding-the-e/3911360055551861/>

【設置者、管理者】

9-2-2 商業施設（百貨店、ショッピングセンター等）

1 商業施設HP（313@somerset）

大手ショッピングモールである 313@somerset の HP では、エスカレーターの歩行利用の禁止や注意を促す記載や片側を空けるよう推奨する記載は確認できないが、モール内のエスカレーターにおける設備面での安全対策について、以下の記載がされている。

・2m 以上の落下の可能性があるエスカレーターには、ガラス製のバルストレード（手すり

を支えるサイドパネル。高い位置に設置されたバルストレードは転落防止の役割がある。) が設置されている。

- ・子供や視覚障害者の安全性を向上させるために、エスカレーターにはフットプリントを追加している。

(参考：313@somerset HP

https://www.313somerset.com.sg/sustainability/health-and-safety/?utm_source=chatgpt.com)

【行政機関】

9-3-1 国、地方自治体

建築建設省の HP では、エスカレーターの歩行利用の禁止や注意を促す記載は確認できない。ただ、上記4に示した通り、歩行利用が主な事故原因の一つであることを公表している。

HP では、一般利用者向けにエスカレーターの安全使用に関する資料（ポスターや動画）を公開しており、事故防止のために注意すべき点について視覚的に明示している。これらの資料は、エスカレーターの安全な利用のためのガイドラインとしても活用できる内容である。



(参考及び画像引用元：建築建設省 HP 「Lift and Escalator Safety」
https://www1.bca.gov.sg/public/safety-resources/lift-and-escalator-safety?utm_source=chatgpt.com)

10 エスカレーターの歩行利用の実態など

10-1-1 エスカレーターの歩行利用の状況

シンガポールでは、「片側に立ち、反対側を歩く」という行動は長年の慣習となっている。エスカレーターで立ち止まる人は左側、急いでいる人は右側を歩行という風景は一般的に見られている。左側に人が集まり、左側に乗るための長い列ができているのがよく見られる。

参考：

ストレーツタイムス読者投稿 2024 年 11 月 13 日 “Encourage standing on both sides of an escalator”

<https://www.straitstimes.com/opinion/forum/forum-encourage-standing-on-both-sides-of-an-escalator>

10-1-2 歩行利用が始まった経緯、歩行利用が続いている理由等

1985 年の G.R. Mills 読者の投稿を見ると、シンガポールの人は 1980 年代半ばまで、エスカレーターの片側で立ち止まる習慣はなかったことを推測できる。従って、読者は急いでいる人が通り抜けられないことを理由として、エスカレーターの片側を空けておくことがマナーの良い行動だと結びついた。

1997 年に、2 代目首相の Goh Chok Tong がもっと親切で思いやりのある社会を築くために、Singapore Kindness Movement (SKM) (シンガポール親切運動) を発足した。右側での歩行利用はこの時から始まったという明確な記載は見付からなかったが、「左側で立ち止まり、右側で歩行」は親切で思いやりのある行動だと捉えられ、政府からのサポートも得た。例えば、地下鉄の運営会社 SMRT は 2002 年に、「左側で立ち止まり、右側で歩行」を礼儀正しい行動として促進した際に、SKM からサポートを受けたという。

2020 年に運輸省のフェイスブックサイトでも、「左側で立ち止まり、右側で歩行」はマナーの良い行動だとの投稿があった。

参考：

・ストレーツタイムス読者投稿 1985 年 11 月 1 日 G.R. Mills “Let’s all keep to the right”
<https://eresources.nlb.gov.sg/newspapers/digitised/article/straitstimes19851101-1.2.46.3>

・国立図書館アーカイブ “Singapore Kindness Movement” (シンガポール親切運動) についての記事

<https://www.nlb.gov.sg/main/article-detail?cmsuuid=a1f9514e-820a-44fb-98e3-f47880f92682>

・シンガポール運輸省フェイスブックサイト (2020 年 3 月 4 日)

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=3095099163834705&id=126446290700022&set=a.134889243189060>